

氏名	辻 玲子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	老年看護学				
学位	修士（看護学）				
学歴	1994年慶應義塾看護短期大学看護学科、1999年大分医科大学医学部看護学科、2001年日本赤十字看護大学大学院看護学研究科修士課程、2017年～宮城大学大学院看護学研究科博士後期課程在学中				
経歴	2012年埼玉県立大学医療福祉学部講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本認知症ケア学会（代議員、関東1地域部会長、査読委員）、日本老年看護学会、日本看護管理学会、日本赤十字看護学会、埼玉県立保健医療福祉科学学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	特集 テクノロジーの活用と認知症の人の尊厳 認知症の人の権利擁護と職員教育	単著	あり	ワールドプランニング；認知症ケア事例ジャーナル12(1)50-54	辻玲子	2019.6
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	外来看護師が高齢者虐待の予兆を察知し介護者支援を行うための看護モデル開発 (2)	共同		日本老年看護学会 第24回学術集会 (仙台)	○辻玲子, 大塚真理子	2019.6
2	座長 (6演題担当)	単独		埼玉県看護協会第9支部 第29回 看護研究発表会	第2群6演題発表 座長 辻玲子	2019.11
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究C)			外来看護師が高齢者虐待の予兆を察知し介護者援助を行うための看護モデル開発	研究代表者	2018.4～2021.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究B)			認知症高齢者と家族の質の高い継続的な暮らしを目指した研修の社会実装と評価	研究協力者	2018.4～2022.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	老年看護学Ⅰ		1	学部1年次生に「老年期を生きる高齢者の特徴」のテーマで、生理的老化と病的老化、加齢に伴う身体機能の変化、高齢者の健康障害等について講義を行った。		
2	老年看護学実習Ⅰ	○	6	学部2年次生に、実習前には地域で暮らす高齢者の特徴と理解、高齢者の健康とアセスメント方法など実習で活用できる内容を講義し、実習後には実習先の高齢者を想起し、高齢者と地域のつながり、高齢者活用について講義した。		
3	認知症看護		1	学部4年次生に、卒業後の自己研鑽の仕方について（認知症看護認定看護師のことや認知症患者にかかわる多職種的事例検討会への参加等）を講義し、加えてオランダの認知症村ホグウェイの視察報告をした。		
4	地域ケア支援論		2	修士課程1年次生に対して、地域における認知症高齢者への看護のアセスメントや援助方法及び高齢者家族への援助方法や多職種連携について講義した。		
5	認知症高齢者看護		2	修士課程1年次生に対して、老年期における認知症の発現過程や認知症の人の生活支援・日常生活援助、認知症者の意思決定支援について講義した。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	老年看護学Ⅱ		18	学部3年次生に、4月は要介護高齢者の看護過程の展開のグループワークがスムーズに進むように助言を行った。また7月は「移動援助」演習において、4グループへ高齢者体験装具を使用してのベット⇄椅子の移動の仕方の指導を行った。口腔ケア演習では、口腔ケアの必要性、スポンジブラシでの口腔清拭や口腔ケアモデルにて義歯の装着方法を指導した。		

2	老年看護学Ⅲ		4	学部3年次生に、グループワーク（老年看護学実習Ⅱの体験の共有や高齢者の家族支援を考えるなど）への助言を行った。実習した病院にとどまらず、まわりの地域との連携した支援に視野が広がった。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	老年看護学実習Ⅰ	○	2019.4～2019.6 学外実習：4日 学内実習：14コマ	科目責任者として、学外実習調整と学内の振り返りの運営を担当しながら、2年次生16名を担当し、2か所の老人福祉センターにおける元気高齢者とのコミュニケーションを中心とした実習指導を4週間かけて（1人2日間）行った結果、高齢者へのイメージや捉え方が変化した。
2	老年看護学実習Ⅱ		2019.10～2019.12 学外実習：25日 学内実習：12コマ	3年次生21名を対象に、医療療養型病棟を使用して8週間の実習と特別養護老人ホームへの見学実習を行った結果、看護展開しつつ、高齢者の病状やADL、認知症の症状にあわせた援助や多職種との連携の基礎を学ぶことができた。
3	総合実習		2019.4～2019.8 学外実習：11日 学内実習：8コマ	老年看護学領域とりまとめ担当者として、学生の施設配置、全体オリエンテーション、事後発表会の運営を行った。また、4年次生3名が、医療療養型病棟で3週間の実習を行った結果、自分の課題と向き合いながら、高齢者本人の認知症のBPSD症状へのケアの仕方や高齢者の家族とかかわり方を習得できた。
4	IPW実習		2019.8～2019.10 学外実習：4日 学内実習：4コマ	医療療養型病棟において、4年次生6名がそれぞれの学科の強みを生かしつつ、対象患者・家族の理解が深まり、かつ多職種の考え方の違いを受け止められるように、教員F Tとして学生を支援し、施設F Tとの調整を行った。
(4) 論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業論文		2019.4～2020.1	主指導 4名 副指導 名
(5) その他				
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	老年看護学概論（非常勤講師）		2020.1～2020.2	上尾看護専門学校の1年生約40名への講義・演習を14コマ行った。
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	彩の国いきがい大学春日部学園 講義	いきいき埼玉	認知症とその予防	2019.5
2	関東1地域部会 事例検討会	日本認知症ケア学会	多職種よれば文殊の知恵：メモなし、壁なし、だんまりなし（7月宇都宮、2月筑波）	2019.7 2020.2
3	2019年度 教育交流会	埼玉県看護協会第9支部	新人育成に対するレジリエンスを高める	2019.9
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	日本認知症ケア学会	関東1地域部会長	2014.4～2020.5	
2	日本認知症ケア学会	第15回認知症ケア専門士認定試験 論文採点員 未来をつくる子どもたちの作文コンクール2020作文一次採点員 第21回日本認知症ケア学会大会査読委員	2019.10～2020.1	
3	埼玉県看護協会 第9支部	教育委員（教育交流会、市民公開講座、看護研究発表会担当）	2018.4～2020.4	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目		内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等		入試実施部会委員	2018.4～2020.3
2	学科等における委員会等		看護学科カリキュラム検討委員	2019.4～現在
3	学科等における委員会等		埼玉県看護協会 学内担当	2018.4～2020.3
4	大学広報活動		オープンキャンパス看護学科企画・運営、高校訪問参加(3校)、都立清瀬高校1年生模擬講義	2019.4～2019.8
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名		主催	受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				

	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8.	特記事項		